

平成13年度事業報告について

I. 事業の実施概況について

企業そのものを継続・繁栄させる責任(健全な経営)、適正な納税を行う責任(納税の義務)、そして、企業のみならず社会にも貢献する責任(社会への貢献)、そんなご苦労の多い皆さんを側面からサポートしよう、経営を力強くサポートしようという考えのもとに、さまざまな業種の会員との活動を通じてお手伝いいたしました。平成13年度諸事業の概況について下記のとおり報告します。

1. 組織関係

- (1) 法人活動の基盤である会員増強は、本部・支部・部会役員上げての会員増強にもかかわらず厳しい経済情勢を反映して期末会員数は4,010社と前期末比133社の減となりました。
- (2) 地域における活動母体である支部単位の事業活動は熱心に行われ、地域における会員の交流が図られました。
- (3) 地域を越えた階層別の組織である「青年部会」「女性部会」および源泉所得税の研修のための「源泉部会」並びに同業種の組織である「宅建部会」については、各部会とも税務、経営を中心とした研修会等部会活動を活発に行いました。

2. 事業関係

- (1) 税務当局および税理士会のご協力により「決算期別法人説明会」を毎月実施し、「新設法人説明会」を6回実施したほか、恒例の「年末調整説明会」を11月に3回実施しました。
- (2) 税理士会のご協力により「緑法人会無料税務相談」を毎月1回実施しました。
- (3) 講演会、セミナー等を次のとおり実施しました。
総会記念講演「私の野球人生」 講師 プロ野球評論家 大矢 明彦氏
中堅社員フォローアップ研修会 講師 (株)ブランドウシー 山上真由子氏
- (4) 会員企業経営者に必要な情報の提供と企業間の交流を深めるための「社長大学」を本年も実施し平成13年12月と平成14年2月2回の講座を開講しました。
- (5) 簿記・会計・税務講習会として「実務簿記講習会」を7月と1月に「法人税確定申告書の書き方講習会」を1~2月に実施しました。
- (6) ビデオライブラリーの充実を図り、会員企業に対する無料貸し出しサービスを実施し、社内研修に自己啓発にご利用いただきました。
- (7) 会員の親睦事業として、日帰りバス旅行「メロン狩り食べ放題」を6月に、「皇居東御苑、仲見世散策」を10月に実施し、多数の方々が参加されました。
- (8) 緑法人会会員大会として11月23日につくし野フィールドアスレチックに於いて「さわやか“みどり”アスレチック&バーベキュー大会」を行いました。当日は478名と大勢の参加を得て、大変好評でした。また、地域社会貢献運動の一環として、当日ご来園の方々に粗品と税のパンフレットを配布しました。
- (9) 税を知る週間の協賛行事として女性部会ではチャリティーボウリング大会を10月16日開催し、当日の収益金を「国境なき医師団」及び緑・青葉・都筑各区の「社会福祉協議会」に夫々寄付しました。
- (10) 会員企業の経営者、従業員の健康管理のため、毎年2回平成13年9月と平成14年3月に「生活習慣病健康診断」を実施し多数の方々が受診されました。
- (11) 本年度より新たに「ここまで来た 癌の治療最前線～医者のかかり方」と題し、東海大学教授の佐々木哲二氏を講師に迎え健康講話を開催しました。
- (12) 緑法人会のホームページは、「業務及び財産等に関する資料」を10月に公開しました。また、会員のリンクも100を超え、緑法人会の様々な情報や地域紹介のために常時更新し、トップページ1年間だけで3,410件のアクセスがありました。 <http://midori.houjinkai.net/>

3. 税制関係

全国130万法人会会員企業の結集をもって、平成13年9月17日神宮外苑の日本青年館ホールに於いて、平成14年度税制改正要望全国大会が開催され、税制改正要望事項(法人会ニュースみらい第92号平成13年10月発刊に掲載)を満場一致で採択し、政府、国会等関係方面に陳情を行いました。

4. 広報関係

法人会ニュースを6回発刊しました。

平成13年度収支計算報告書〔自平成13年4月1日～至平成14年3月31日〕

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	決 算 額 内 訳		備 考
				一 般 会 計	特 別 会 計	
1. 収 入 の 部						
基本財産運用収入	7,500	7,500	0	7,500	0	
会費収入	60,200,000	57,951,070	2,248,930	57,951,070	0	
青年部・女性部会費収入	4,500,000	3,368,586	1,131,414	3,368,586	0	
事業収入	5,336,000	4,414,085	921,915	4,414,085	0	
推進費収入	11,139,000	11,133,454	5,546	0	11,133,454	
補助金収入	5,222,100	5,712,700	490,600	5,712,700	0	
雑収入	1,180,000	1,481,029	301,029	1,070,695	410,334	
繰入金収入	1,205,710	1,860,427	654,717	1,860,427	0	
特定預金取崩収入	0	1,708,000	1,708,000	1,708,000	0	
当期収入合計(A)	88,790,310	87,636,851	1,153,459	76,093,063	11,543,788	
前期繰越収支差額	19,898,794	19,898,794	0	19,898,794	0	
収入合計(B)	108,689,104	107,535,645	1,153,459	95,991,857	11,543,788	
2. 支 出 の 部						
(1) 事業費	45,243,000	38,023,637	7,219,363	33,666,992	4,356,645	
(2) 会議費	4,000,000	3,633,087	366,913	3,134,264	498,823	
(3) 管理費	32,050,000	30,197,066	1,852,934	25,941,273	4,255,793	
(4) 固定資産取得支出	0	0	0	0	0	
(5) 特定預金支出	4,470,000	11,770,768	7,300,768	11,770,768	0	
(6) 法人税等引当繰入	401,400	572,100	170,700	0	572,100	
(7) 繰入金支出	1,205,710	1,860,427	654,717	0	1,860,427	
(8) 予備費	1,300,000	0	1,300,000	0	0	
当期支出合計(C)	88,670,110	86,057,085	2,613,025	74,513,297	11,543,788	
当期収支差額(A)-(C)	120,200	1,579,766	1,459,566	1,579,766	0	
次期繰越収支差額(B)-(C)	20,018,994	21,478,560	1,459,566	21,478,560	0	